

いしおか



石岡消防署

海野 ことみさん(令和4年入署 右側) 救急救命士
 本田 祝 華さん(令和5年入署 左側) 救急隊員

消防士を目指した理由を教えてください。

海野) 幼い頃から誰かの役に立つ職業に就きたいと考えていました。中高と陸上競技部で培った体力・忍耐力を活かすことができ、市民の方々と身近に関わることができると思ったからです。

本田) 高校三年生の夏頃の職業説明会で、水戸消防の女性救急救命士の話を聞く機会があり、かっこいいと思い目指しました。

実際に働いてみた感想を教えてください。

海野) 入庁してすぐの頃は生活リズムに慣れるまで大変でしたが、今ではワークライフバランスが取れており、仕事も非番でのプライベートも充実しています。

本田) 時には体力や精神面できつい時もありますが、先輩や上司を見て、自分なりの目標を立てて、日々活動しています。

消防学校での思い出を教えてください。

海野) 訓練は、猛暑の中同じ内容・装備で行うため心身ともに鍛えられます。同期と励ましあいやり遂げた時の達成感を味わうことができるのは、この職業の特権だと思います。永遠の同期と充実した半年間を過ごすことができました。

本田) 訓練を行う際は、男女関係なく訓練を実施し、約半年間同期と寮で生活するのが、人生で一番濃い思い出になりました。

仕事のやりがいについて教えてください。

海野) 救急搬送した傷病者や家族から、感謝の言葉をいただいた際に、消防士になってよかったと、やりがいを感じます。

本田) 傷病者や家族に感謝の言葉をいただくときです。一言いただくだけでも、すごく安心があり、もっと沢山の人の役に立ちたいと思えるからです。

男性が多い職場で苦労したことはありますか。

海野) 特に感じたことはないです。相談や報告などその他にもコミュニケーションが取れる環境を先輩方が作ってくれており働きやすい職場です。

本田) 気を遣わせてしまったり、逆に変に気を遣ってしまう所です。

消防士を目指す女性に一言お願いします。

海野) 女性なりの視点で傷病者や職場内に気づかいや心配りが生きる職業です。入庁するまでは不安なことばかりでしたが、今ではとてもやりがいのある仕事だと感じています。

本田) 体力に自身がなくても日々の訓練や自主活動で自然に身につき、周りもサポートしてくれます。

男女共同参画通信では、男女共同参画の推進という視点から、石岡市で活躍されている方を紹介しています。「この人を紹介してほしい」「こんな活動をしている人がある」といった情報がありましたら、人口創出課までご連絡ください。

令和5年度 男女共同参画事業セミナー 開催報告

企業向けセミナー

石岡市では、男女共同参画について学べるセミナーやワークショップなどの啓発活動を行っています。

企業向けセミナー～認定制度の説明会を実施しました～

日時：令和6年2月2日（金）

場所：石岡市役所201・202会議室

講師：社会福祉法人泰仁会

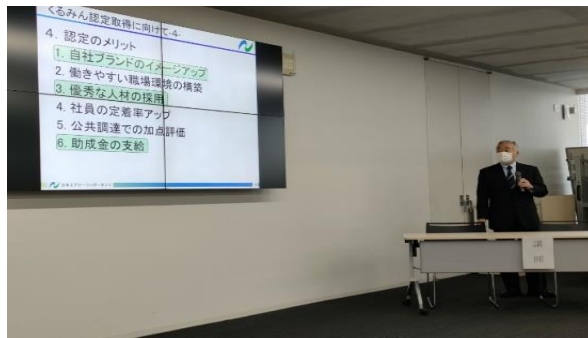
日本エナジーコンポーネンツ株式会社

茨城労働局雇用環境・均等室

茨城労働局雇用環境・均等室

ハローワーク石岡

大塚	由美	さん
神谷	正路	さん
加藤	邦治	さん
打越	淑絵	さん
玉虫	邦彦	さん



▲当日、会場はお客さんでいっぱい。講演の様子は、後日、視聴希望者向けに、YouTubeで限定配信されました。

茨城県中小企業では初のくるみん認定企業である、社会福祉法人泰仁会大塚由美さんから、くるみん認定取得のきっかけは職員の相談からだったことや、認定取得のためには職員への周知とニーズの把握、組織の風土づくりがポイントであるとして講演いただきました。

令和5年8月にくるみん認定を受けた株式会社日本エナジーコンポーネンツ管理部長である神谷正路さんからは、厚生労働省が運営する「両立支援のひろば」の掲載日が一般事業主行動計画公表日の証明となることや行動計画において経過に対する実施内容と日付を記録しておくことをポイントであるとして講演いただきました。

また、茨城労働局の加藤邦治さん、打越淑絵さんからは次世代育成支援対策推進法と女性活躍推進法の概要説明を、石岡公共職業安定所の玉虫邦彦さんからはユールエール認定の説明をいただきました。

くるみん認定制度とは・・・

「次世代育成支援対策推進法」に基づく認定制度。

従業員の仕事と子育ての両立のための行動計画を策定・実施するなど、一定の要件を満たした企業が申請することにより、「**子育てサポート企業**」として厚生労働大臣の認定を受けることができます。



出前講座

石岡市では、児童・生徒を対象に男女共同参画をテーマにした出前講座を実施しています。

性別にとらわれない、能力を生かした職業の選択について

日時：令和5年12月8日（金）
対象：石岡商業高等学校全校生徒

講師：鹿島建設株式会社 土木管理本部 土木企画部
人事・教育グループ 専任部長
(建設産業女性定着支援ネットワーク幹事長) **須田 久美子 さん**



▲須田さんのお話を真剣に聞く高校生の皆さん。「性別にとらわれずにやりたい仕事につくのはかっこいい」といった感想が寄せられました。

女性が少ない建設産業の現場の中で、ドボジョ（土木女子）として長年活躍してきた須田さん。出産や育児などのライフイベントを経ながら女性技術者として働いてきた経験などをお話いただきました。

また、これから職業を選択する高校生へ向けて、「好きなこと・没頭できることを見つけ仕事を楽しむこと」「夢をあきらめないこと」など、仕事を続けるコツを伺いました。

Q建設産業女性定着支援ネットワークとは・・・

建設産業で働く女性の入職促進、定着を図ることを目的に2018年度に設立。全国各地に組織されている、女性の定着を推進する活動を行っている団体によるネットワークを構築しています。

イクボスセミナー

石岡市では、男女がともに働きやすい就業環境の整備を掲げ、啓発活動を行っています。

心理的安全性と学習する職場が成長への鍵 ～男性育休は会社を変えるボウリングの一番ピン～

日時：令和6年2月9日（金）
場所：ひまわりの館 ふれあいホール
対象：市内事業所等
講師：NPO法人ファザーリング・ジャパン
代表理事 **安藤 哲也 さん**

講演では、笑っている父親になるための極意や男性の育休参加における社会への影響、今の管理職に求められていることや心理的安全性について学びました。



イクボスとは

職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果も出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のことです。

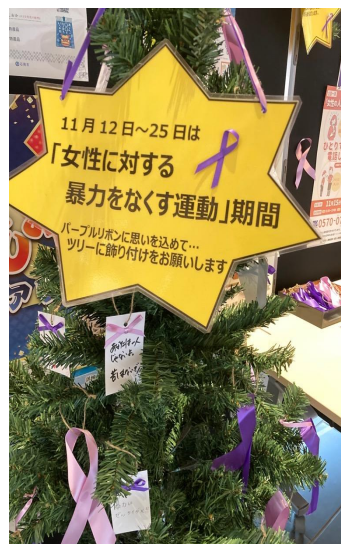


女性に対する暴力をなくそう パープルリボン運動を実施しました

パープルリボンは、女性に対する暴力を根絶するシンボルマークです。

多くの女性が悩み、苦しんでいるのに、相談しにくい暴力。

石岡市では、令和5年11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」の期間に合わせて、女性に対するあらゆる暴力をなくすための啓発と、相談窓口の周知を目的としたパープルリボン運動を行いました。



▲ 本庁舎入口にツリーを設置し、利用者に暴力根絶への願いを込めてパープルリボンやメッセージを飾り付けていただきました。期間後は、メロディアスホールと支所市民ラウンジでもツリーの展示を行いました。

暴力に悩んでいませんか？

ひとりで抱え込まずに、まずは相談を。

- ◆茨城県女性相談センター ☎ 029-221-4166
- ◆DV相談ナビ ☎ #8008
- ◆DV相談+（プラス） ☎ 0120-279-889
- ◆女性のための困りごと相談 ☎ 0299-57-3011
(第2・3・4木曜日 石岡市社会福祉課人権推進室)

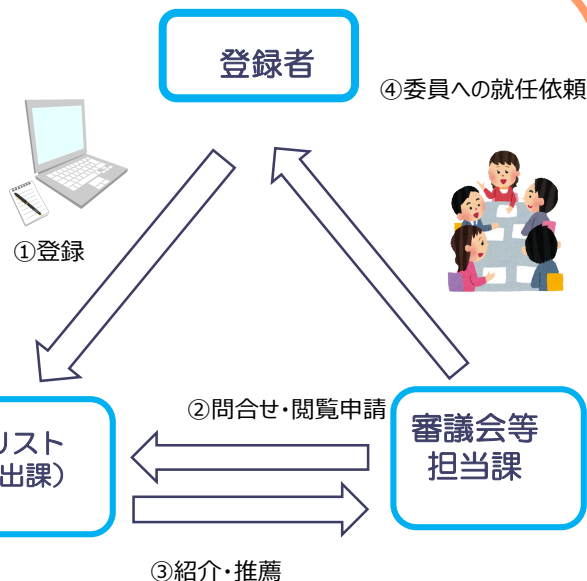
石岡市女性人材登録制度への 登録者を募集しています

石岡市では、政策の方針を決める審議会などへの女性登用を推進しています。

女性人材登録制度は、登録いただいた方を、市の各審議会等へ委員として紹介する制度です。自薦・他薦は問いませんので、ぜひご登録をお願いいたします。

対象者：市内に在住の18歳以上の女性

申請は随時受け付けています。お気軽にお問い合わせください。



石岡市女性人材登録制度

